

「生命(いのち)の安全教育」実践事例

活動名	特別活動「自分と相手を大切にするためにひつようなことを考えよう」		
学校名	海老名市立杉久保小学校		
学年	① 3年生	人数	90人 特別支援学級児童を含む
日時	令和6年7月16日(火) 3時間目 10:50~11:35		
学年	② 4年生	人数	88人 特別支援学級児童を含む
日時	令和6年7月17日(水) 3時間目 10:50~11:35		
取扱いの分類	人権・性		
講師	教諭(支援級 担任, 人権担当)		
学習のねらい	<p>○プライベートゾーンを知る。</p> <p>○自分と相手を大切にするためにひつようなことを考える。</p>		
内容	<p>(導入)</p> <p>1 あいさつ</p> <p>2 学習の流れの確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パワーポイントで共通理解をする <p>3 めあての確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・めあてがなにか予想し、周囲と話し合う <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">自分と相手を大切にするためにひつようなことを考えよう</p> <p>(導入)</p> <p>4 「おしえてくもくん」絵本を読む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライベートゾーンがあることをおさえる <p>5 体と心の距離感について動画を見る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員が登場する動画(20秒程度)を視聴する <p>6 ピンクと水色のポストイットに自分の考えを記入する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピンク「自分を大切にするために必要なこと」と水色「相手を大切にするために必要なこと」を記入する <p>7 ポストイットの意見を共有する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポストイットを壁に貼り、互いの意見を共有する 		



	<p>(まとめ)</p> <p>8 ふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを記入する <p>9 まとめ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ol style="list-style-type: none"> ① 身の危険を感じたら 『いや!』 と言う ② 自分の気持ちを正直につたえよう ③ 友だちがこまっていたら声をかける ④ 大人にそうだんする </div> 
<p>成果 (児童・生徒、教職員の感想等)</p>	<p>児童:プライベートゾーンが大事だということがわかった。嫌な時は嫌と伝えていいことがわかった。自分の気持ちを理解することも大切だと思った。みんなされて嫌なことは違うから考えようと思った。</p> <p>教職員:ポストイットを活用したことで、考えを共有できたことがよかった。一人ひとりが考えをもつことができた。</p>
<p>学校全体での取組や工夫</p>	<p>令和6年度より、学校全体で生命の安全教育について取り組み、当日の授業の様子を動画撮影しホームページにて2学期に保護者に公開した。</p> <p>1年生から4年生までは、養護教諭と人権担当を中心に学年ごとに学習をし、5・6年生は、養護教諭と海老名市教育委員会指導主事で学年ごとに学習をした。</p> <p>人権教育の視点からも考え、朝会の講話でも「自分と他者を大切にする」話をするなど継続して取り組んでいる。</p>